

科目名	糖尿病	糖尿病の総論、2型糖尿病、1型糖尿病を含むインスリン療法	
-----	-----	------------------------------	--

アウトカム

糖尿病の病因や病態を理解し、有効で安全な薬物治療を提供するうえで必要な能力を修得し、患者が自分らしく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①糖の代謝、エネルギー産生のしくみを理解する。
- ②血糖コントロールのしくみを理解する。
- ③糖尿病治療薬の作用機序、副作用について理解する。
- ④糖尿病の合併症について理解し、その予防・治療について理解する。
- ⑤糖尿病の薬物療法に関する最新のガイドラインやエビデンスに基づいて、個々の患者に適した治療方針や薬剤選択を行い、有効で安全な薬物治療を提供する。
- ⑥糖尿病の原因となる生活習慣病対策として必要な健康サポートを実践する。

学習計画

回数	所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回	文京学院大学	飯島 史朗 (薬剤師)	●エネルギーを産生する仕組み * グルコースの代謝 * 脂肪酸、トリアシルグリセロールの代謝 ●エネルギーを産生する仕組み (膵臓、消化管、肝臓、腎臓)	45分	①、②
第2回	帝京大学	小佐野 博 史 (薬剤師)	●糖尿病を理解するための基本 病態と薬理のつながり * 糖尿病とは？ -糖尿病のき・ほ・ん- * 糖尿病の病態と発症機序・糖尿病の治療目標と治療薬 * 糖尿病三大合併症の発症機序と治療 [(1)糖尿病神経障害、(2)糖尿病網膜症、(3)糖尿病腎症]	45分	①、③、④
第3回	星薬科大学	松本 貴之 (薬剤師)	●糖尿病治療薬の作用機序と特徴 * 各薬物の作用機序の理解	45分	②、③
第4回	星薬科大学	池田 弘子 (薬剤師)	●糖尿病の成因分類 ●インスリン療法	45分	②、③
第5回	多摩総合医療センター	辻野 元祥 (医師)	●糖尿病の病態、診断、薬物療法	90分	③、⑤
第6回	杏林大学病院	小林 庸子 (病院薬剤師)	●糖尿病における薬学的指導 (病院薬剤師の立場から) * 糖尿病療養支援の全体像 病院薬剤師の役割	45分	⑤
第7回	大和調剤センター	森 貴幸 (薬局薬剤師)	●糖尿病性腎症 重症化予防 薬局での取り組み～保険薬局の果たす役割～	45分	⑥
第8回	(株)恵比寿ファーマシー	篠原 久仁 子 (薬剤師)	●とりまとめ (糖尿病)	45分	①、②、③、④、⑤

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験 (100%)。ただし全8回の講義を受講する必要があります。

科目名	脳卒中	脳梗塞、脳出血	
-----	-----	---------	--

「5 疾病及び呼吸器疾患」コース全体のアウトカム：疾病に対する予防も含めた薬学的知見に基づき、個々の状態に応じた薬学的管理を行い、来局者が支障なく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

科目（脳卒中）のアウトカム

脳卒中に対する予防も含めた薬学的知見に基づき、来局者の理解度に合わせた説明や体調の変化に伴う副作用初期症状の発見等、個々の状態に応じた薬学的管理を行い、来局者が支障なく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①脳卒中の原因を理解し、患者の症状から病状を把握することができる。
- ②脳卒中に対する治療の変遷を理解した上で、薬物治療に関する最新のガイドラインやエビデンスに基づいて、個々の患者に適した治療方針や薬剤選択を行い、有効で安全な薬物治療を提供する。
- ③脳卒中の原因となる生活習慣の改善を目的とした健康サポートを実践する。
- ④脳卒中で使用する医薬品の効果判定を行い、必要であれば処方提案を行う。
- ⑤医師、看護師等の地域における医療資源を活用し、脳卒中の患者が安心して、安全に暮らせるようにサポートする。

学習計画

回数	所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回	帝京大学	長田 洋一 (薬剤師)	●脳について 機能形態学 * 脳の構造について * 脳梗塞および脳卒中の病因 * 脳の働きについて	30分	①、②
第2回	帝京大学	日下部 吉男 (薬剤師)	●脳卒中についての病態および薬物治療 * 脳卒中で使用される治療薬について 薬理作用および薬物治療 * 脳卒中で使用される治療薬について 副作用のメカニズム	30分	①、②
第3回	日本医科大学	木村 和美 (医師)	●脳卒中の治療について * 脳梗塞急性期に対する治療について * 脳出血急性期に対する治療について	90分	①、②、③
第4回	TMGあさか医療センター	奈良部 修弘 (病院薬剤師)	●脳卒中における薬学的指導（病院薬剤師の立場から） * 脳卒中患者に対する薬物治療について（急性期） * 脳卒中患者に対する薬学的管理について（入院）	45分	①、②、③、④
第5回	薬局しなやく	加藤 肇 (薬局薬剤師)	●脳卒中における薬学的指導（薬局薬剤師の立場から） * 脳卒中患者に対する薬物治療について（慢性期） * 脳卒中患者に対する薬学的管理（在宅・介護施設）および栄養管理について	45分	③、④、⑤
第6回		大村 香織 (管理栄養士)	●脳卒中の栄養サポート * 脳卒中患者に対する栄養について * 脳卒中患者に対する食事について	90分（基礎編45分、応用編45分）	③
第7回	昭和大学	山元 俊憲 (薬剤師)	●薬理学に基づいた臨床判断 * 処方薬の効果・副作用 * モニタリングを行う上で重要なことは	30分	①、②、③、④、⑤

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験（100%）。ただし全7回の講義を受講する必要があります。

科目名	心血管疾患	不整脈、虚血性心疾患、心不全、弁膜症、先天性心疾患	
-----	-------	---------------------------	--

科目（心血管疾患）のアウトカム

心血管疾患の予防を含めた薬学的知見に基づき、来局者の理解度に合わせた説明や生活習慣などを考慮した発症リスク低減の助言等、個々の状態に応じた薬学的管理を行い、発症後も支障なく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①心臓の構造と生理的特性、心機能の調節と異常を説明できる。
- ②心血管疾患における代表的な疾患について、それぞれの原因や症状を理解し、患者の症状から病状を把握することができる。
- ③心血管疾患に対する治療の変遷を理解した上で、薬物治療に関する最新のガイドラインやエビデンスに基づいて、個々の患者に適した治療方針や薬剤の選択を行い、有効で安全な薬物治療を提供することができる。
- ④心血管疾患における初期症状や前兆を把握し、早期受診につなげることで重症化を防げるようサポートする。
- ⑤心血管疾患患者に対して適切なフォローアップを行い、再発や重症化を防げるようサポートする。
- ⑥心血管疾患の進行を防ぐために必要な食事や運動療法について把握し、生活習慣の改善をサポートする。
- ⑦心血管疾患における地域医療連携の取り組みを理解し、心血管疾患患者が地域の中で安心して生活できるようにサポートする。

学習計画

回数	所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回	北里大学	内藤 康仁 (教員)	●心血管疾患を理解する * 代表的な心血管疾患について * 心血管疾患の主な症状について	45分	①、②
第2回	星薬科大学	松本 貴之 (薬剤師)	●不整脈を理解する 機能生理 * 心臓の構造 * 心拍の仕組み * 興奮と発生と伝達 * 電気信号の仕組み * 心電図	45分	①、②
第3回	帝京大学	坂本 謙司 (薬剤師)	●不整脈を理解する 病態と薬理のつながり * 不整脈の病態と発症メカニズム * 不整脈治療薬の薬理	45分	②、③
第4回	東邦大学大森病院	池田 隆徳 (医師)	●不整脈診療における抗不整脈薬の位置づけと使用する上でのノウハウ * 不整脈診療について * 不整脈治療薬の薬理と使用法	90分	②、③、④
第5回	東京都済生会中央病院	長谷川 祐 (医師)	●虚血性心疾患を理解する 診断・治療 * 虚血性心疾患の概念（心筋梗塞・狭心症） * 虚血性心疾患の検査 * 虚血性心疾患の治療	45分	②、③、④
第6回	東京都済生会中央病院	長谷川 祐 (医師)	●虚血性心疾患を理解する 薬物療法の位置付け * 虚血性心疾患の予防 * 虚血性心疾患における薬物療法	45分	②、③、④
第7回		医師 (未定)	●弁膜症を理解する * 弁膜症の概念 * 弁膜症の検査と治療	45分	②、③、④
第8回		医師 (未定)	●先天性心疾患を理解する * 先天性心疾患の概念 * 先天性心疾患の検査と治療	45分	②、③、④
第9回	うしお病院	加藤 真帆 人 (医師)	●心不全を理解する HFrEFにおける診断・治療と薬物療法の位置付け * HFrEFの概念 * HFrEFの検査と外科的治療 * HFrEFにおける薬物治療の位置付け * HFrEFの治療薬における薬学的管理	45分	②、③、④
第10回	うしお病院	加藤 真帆 人 (医師)	●心不全を理解する HFpEFにおける診断・治療と薬物療法の位置付け * HFpEFの概念 * HFpEFの検査と外科的治療 * HFpEFにおける薬物治療の位置付け * HFpEFの治療薬における薬学的管理	45分	②、③、④
第11回	杏林大学病院	中山 英明 (病院薬剤師)	●慢性心不全治療における病院薬剤師の関わり * 慢性心不全患者に対する治療と薬学的管理について	45分	②、③、④、⑤、⑥
第12回	つなぐ薬局	鈴木 邦彦 (薬局薬剤師)	●心不全患者における薬局薬剤師の役割 * 心不全の原因となる生活習慣に対する対策について * 心不全患者に対する薬学的管理について	45分	②、④、⑤、⑥、⑦
第13回		薬局薬剤師 (未定)	●心血管疾患患者への生活指導 * 心血管疾患の原因となる生活習慣と発症予防のための対策について * 心血管疾患患者に対する薬学的管理、生活習慣管理について	45分	②、④、⑥、⑦

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験（100%）。ただし全13回の講義を受講する必要があります。

科目名	精神疾患	うつ病および統合失調症	
-----	------	-------------	--

アウトカム

精神疾患（うつ病、統合失調症等）に対する予防も含めた薬学的知見に基づき、早期発見・治療、状態の変化への対応等、個々の状態に応じた薬学的管理を行い、来局者が支障なく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①精神疾患の原因および病態の理解に基づいて、患者の主観的・客観的情報から病状を把握することができる。
- ②精神疾患の領域で使用する薬物の特徴を考慮して、患者の状態にあった処方提案を行う。
- ③精神疾患の薬物治療に関する最新のガイドラインやエビデンスに基づいて、個々の患者の病状や治療方針を基に、有効で安全な治療に繋げる。
- ④精神疾患を有する個々の患者の薬物治療において、効果・副作用の確認事項、確認時期等に基づいてフォローし、必要に応じて処方提案を行う。
- ⑤精神疾患を有する患者の生活を支える支援策および体制に基づいて必要なサポートを行う。
- ⑥精神疾患の発症予防に関わる方策を理解するとともに、早期発見・早期治療につなげる。

学習計画

回数	所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回	帝京平成大学	建部 卓也 (薬剤師)	●精神疾患についての病態 *うつ病の病因および病態 *統合失調症の病因および病態	45分	①、②、③
第2回	帝京平成大学	建部 卓也 (薬剤師)	●精神疾患の薬物治療 *うつ病および統合失調症で使用される治療薬について	45分	①、②、③
第3回	杏林大学医学部精神神経学教室	渡邊 衡一郎 (医師)	●精神疾患についての病態および薬物治療 *うつ病および統合失調症以外の病態と治療薬について	90分	①、②、③
第4回	昭和大学薬学部/昭和大学附属烏山病院	永井 努 (病院薬剤師、精神科専門薬剤師)	●精神疾患における薬学的指導（病院薬剤師の立場から） *精神疾患の薬物治療と薬学的管理	90分 (うつ病:45分、統合失調症:45分)	②、③、④
第5回	あおぞら薬局 藤沢店	成井 繁 (薬剤師)	●精神疾患における薬学的指導（薬局薬剤師の立場から） *精神疾患患者に対する治療について *精神疾患患者に対する薬学的管理について	90分 (うつ病:45分、統合失調症:45分)	④、⑤、⑥
第6回	臨床心理士	浅見 大紀	●精神疾患を有する患者の生活を支える支援策および体制 ●精神疾患の発症予防と早期発見・早期治療	45分	⑤、⑥
第7回	名城大学	野田 幸裕 (薬剤師)	まとめ	45分	①、②、③、④、⑤、⑥

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験（100%）。ただし全7回の講義を受講する必要があります。

科目名	がん	がんの総論、大腸がん	
-----	----	------------	--

アウトカム

抗がん剤治療を実施している患者に対し、薬剤の投与計画や副作用のマネジメントなど有効で安全安心な薬物療法を提供するうえで必要な能力を修得し、患者QOLの向上をかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①がんについての基礎知識（定義、疫学、病態、診断）を修得し、発症メカニズムを病的変化に関連付けて理解する。
- ②がん治療の基本知識を修得し、様々ながん治療薬（細胞障害性抗がん薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）の作用メカニズムを理解する。
- ③大腸の構造と機能を関連付けて理解する。
- ④大腸がんの病態（症状、経過やステージ等）や抗がん剤治療の歴史について学び、個々の患者に寄り添いながら患者の薬物療法や自宅での療養生の支援について理解する。
- ⑤大腸がんの治療薬について学び、有効で安全な薬物療法や副作用対策等について理解する。
- ⑥大腸がんの検査や手術、非薬物療法等について学び、様々な背景や病態の患者に対応できる幅広い知識を修得する。
- ⑦大腸がん患者の服薬指導の際の情報収集や副作用対策を含めたフォローアップやトレーシングレポートの作成について理解する。

学習計画

回数	所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回		未定（大学 教員）	●がんについて（総論） *がんの定義 *疫学 *病態（発生、特徴、がん関連遺伝子、病因：遺伝因子と環境因子、遺伝性腫瘍）	90分?	①
第2回	武蔵野赤十字病院	中根 実 （医師）	●がんの診断と治療の選択（総論） *診断 *治療の選択	30分	①
第3回	武蔵野赤十字病院	中根 実 （医師）	●がんの診断と治療（総論） *治療の実際（全体像、外科療法、放射線療法、薬物療法） *サポータブケア／緩和ケア *地域連携	60分	②
第4回	がん研有明	清水 久範 （病院薬剤師）	●がん薬物療法の基礎知識について *疫学 *抗がん薬治療の歴史 *細胞傷害性抗がん薬について *薬物療法の薬理 *抗がん薬治療の大切な共通認識	45分	②
第5回	帝京大学	板垣 文雄 （病院薬剤師）	●分子標的・免疫チェックポイント阻害薬の基本知識 *承認状況 *がんの発生と標的 *分子標的薬の基本知識 *免疫チェックポイント阻害薬の基本知識 *使用上の注意	45分	②
第6回	武蔵野大学	湯浅勝敏 （薬剤師）	●大腸の構造と機能について *構造 *機能	45分	③
第7回	がん研有明	中村 匡志 （病院薬剤師）	●大腸がんについて *疫学 *大腸がん概要（症状、経過、ステージ分類、ステージ別治療法、ステージ別予後、切除不能進行再発大腸がんの原発部位） *大腸がんの検査法 *内視鏡治療、手術（外科治療）、人工肛門（ストーマ） *がん組織の遺伝子検査	30分	①、③、④、⑥
第8回	がん研有明	中村 匡志 （病院薬剤師）	●大腸がんの薬物療法について *使用する薬剤（分類と特徴） *術後補助化学療法 *切除不能進行・再発大腸がんに対する薬物療法 *各論（細胞傷害性抗がん薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）	30分	②、④、⑤
第9回	スエヤス調剤薬局	島田 淳史 （薬局薬剤師）	●大腸がんの患者さんへの服薬指導とフォローアップについて *調剤前の情報収集 *調剤、鑑査 *患者への指導 *調剤・指導後の記録 *フォローアップ（トレーシングレポートを含む）	30分	④、⑤、⑥、⑦
第10回	黒田薬局	黒田 雅子 （薬局薬剤師）	●とりまとめ（大腸がん）	45分	①、②、③、④、⑤、⑥、⑦

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験（100%）。ただし、第1～5回（全5回）と第6～10回（全5回）を聴講単位とし、それぞれの聴講単位の全講義を受講する必要があります。

科目名	呼吸器・アレルギー疾患	気管支喘息・COPD	
-----	-------------	------------	--

アウトカム

気管支喘息・COPDに対する予防も含めた薬学的知見に基づき、来局者の理解度、身体所見およびアドヒアランスに応じた薬学的管理を行い、来局者が支障なく生活できるようにかかりつけ薬剤師として支援する。

学習目標

- ①気管支喘息・COPDの原因を理解し、患者の症状から病状を把握することができる。
- ②気管支喘息・COPDの薬物治療に関する最新のガイドラインやエビデンスに基づいて、個々の患者に適した治療方針や薬剤選択を行い、有効で安全な薬物治療を提供する。
- ③気管支喘息・COPDの原因となる生活習慣の改善に必要なサポートを行う。
- ④気管支喘息・COPDで使用する医薬品の効果判定を行い、必要であれば処方提案を行う。
- ⑤気管支喘息・COPDの患者が安心・安全に地域で暮らせるように、必要なサポートを行う。

学習計画

回数	講師の所属	講師	学習内容	時間	関係している学習目標
第1回	昭和大学医学部	鈴木 慎太郎 (医師)	●気管支喘息・COPDを理解するための基本 機能生態学 *呼吸器の構造について *呼吸器の働きについて	45分	①、②
第2回	昭和大学医学部	宮田 祐人 (医師)	●気管支喘息・COPDを理解するための基本 機能生態学 *咳・痰・喘鳴が生じる仕組み *気管支喘息・COPDの病因について	45分	①、②
第3回	昭和大学医学部	井上 英樹 (医師)	●気管支喘息・COPDを理解するための基本 病態・診断・検査 *気管支喘息・COPDの病態・診断・検査について *気管支喘息・COPDのガイドラインについて	90分	①、②、④
第4回	昭和大学薬学部	柴田 佳太 (薬剤師)	●気管支喘息・COPDの治療 薬理・薬物治療 *気管支喘息・COPD治療薬の変遷 *治療薬はどこにどう作用するのか *気管支喘息・COPDの予防治療について *気管支喘息・COPDの発作治療について	60分	①、②
第5回	昭和大学江東豊洲病院	柏原 由佳 (病院薬剤師)	●気管支喘息・COPDにおける薬学的指導（病院薬剤師の立場から：急性期） *気管支喘息・COPD患者に対する薬物治療について *気管支喘息・COPD患者に対する薬学的管理について	45分	②、③、④、⑤
第6回	くりの木薬局	山崎 あすか	●気管支喘息・COPDにおける薬学的指導（薬局薬剤師の立場から：慢性期） *気管支喘息・COPD患者に対する生活支援について *気管支喘息・COPD患者に対する薬学的管理について	45分	②、③、④、⑤
第7回	昭和大学薬学部	鈴木 康介 (薬剤師)	●気管支喘息・COPDの治療サポート *気管支喘息・COPD患者に対する生活について *気管支喘息・COPD患者に対する吸入器の使用方法について *気管支喘息・COPD患者に対する非薬物治療について	60分	③、⑤
第8回	昭和大学薬学部	肥田 典子 (医師)	●とりまとめ	60分	①、②、③、④、⑤

成績評価の方法および基準

インターネット上での客観試験（100%）。ただし全8回の講義を受講する必要があります。